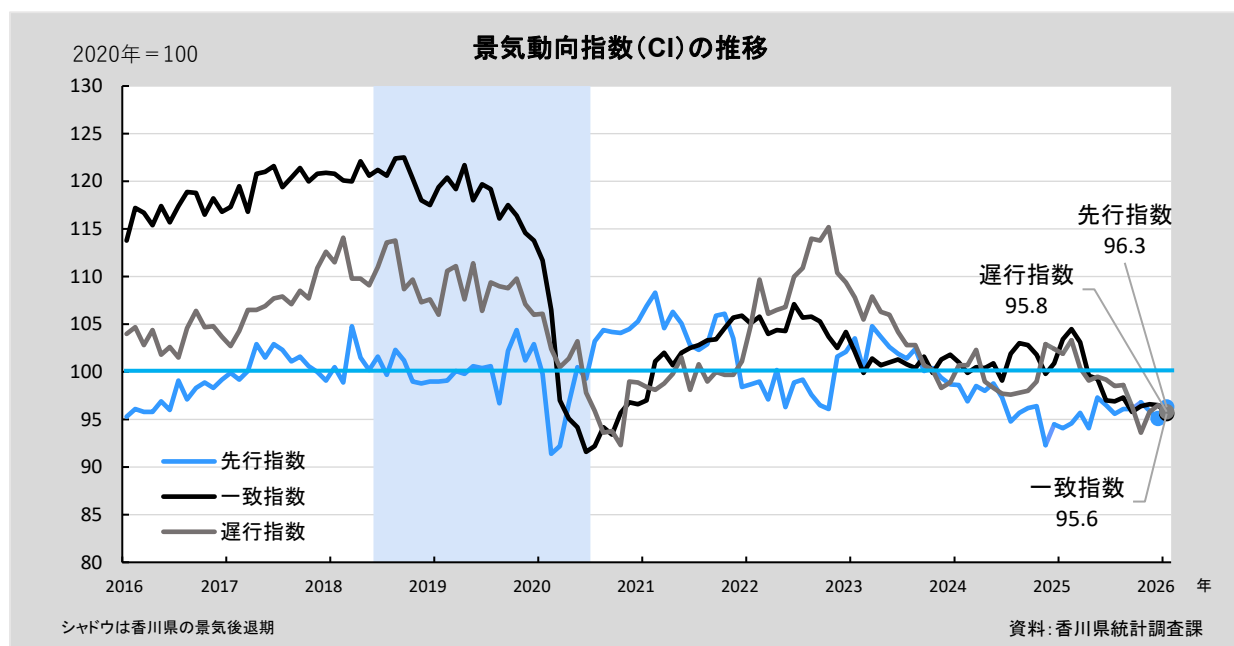


概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	持ち直しの動きに弱さがみられる。
貿易	輸出、輸入ともに増加している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI)

一致指数 2カ月連続下降



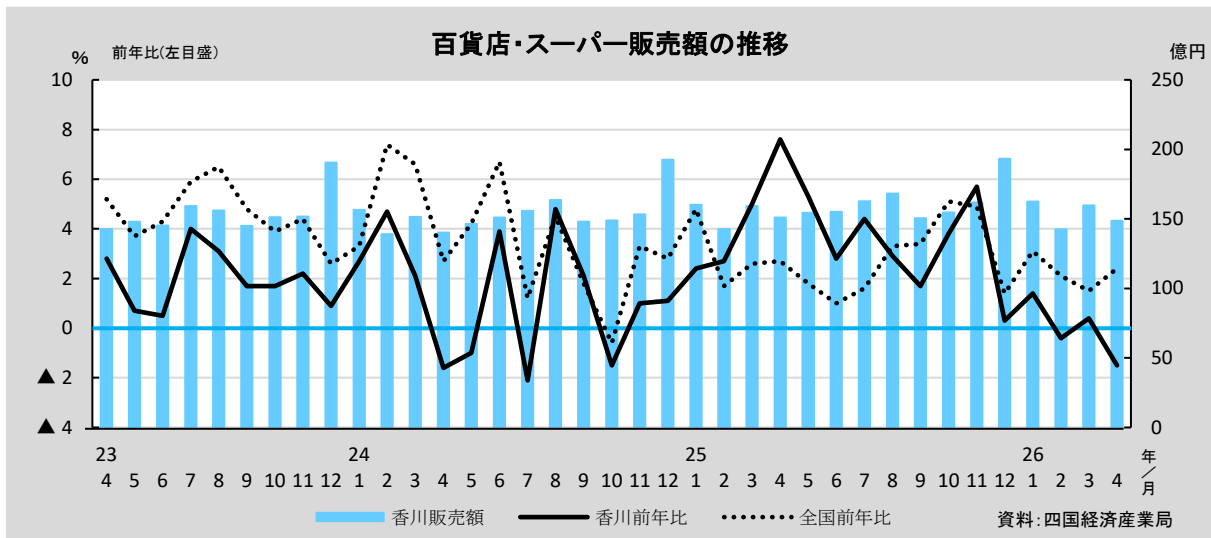
景気の現状をみると、3月のCI一致指数は95.6（前月比▲0.9ポイント）と2カ月連続で下降。CI先行指数は96.3（同+1.2ポイント）と3カ月ぶりに上昇。CI遅行指数は95.8（同▲0.7ポイント）と3カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、雇用保険受給者実人員、建築着工床面積等がマイナスに寄与し、2カ月連続で下降となった。

採用 景気 指標	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
	1 新規求人数	2.50	1 雇用保険受給者実人員	▲ 1.16	1 常用雇用指数	0.05
	2 乗用車新車登録台数		2 有効求人倍率	▲ 0.01	2 有効求職者数	0.40
	3 鉱工業在庫率指数	2.46	3 所定外労働時間指数	▲ 0.02	3 消費者物価指数	1.06
	4 新設住宅着工戸数	▲ 1.53	4 鉱工業生産指数	▲ 0.05	4 家計消費支出	▲ 0.33
	5 金融機関貸出残高		5 鉱工業出荷指数	0.88	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.98
	6 消費者態度指数	▲ 2.17	6 建築着工床面積	▲ 0.37	6 法人事業税調定額	▲ 0.91
			7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.24	7 第3次産業活動指数	0.06

●百貨店・スーパー販売額

2 カ月ぶり減少

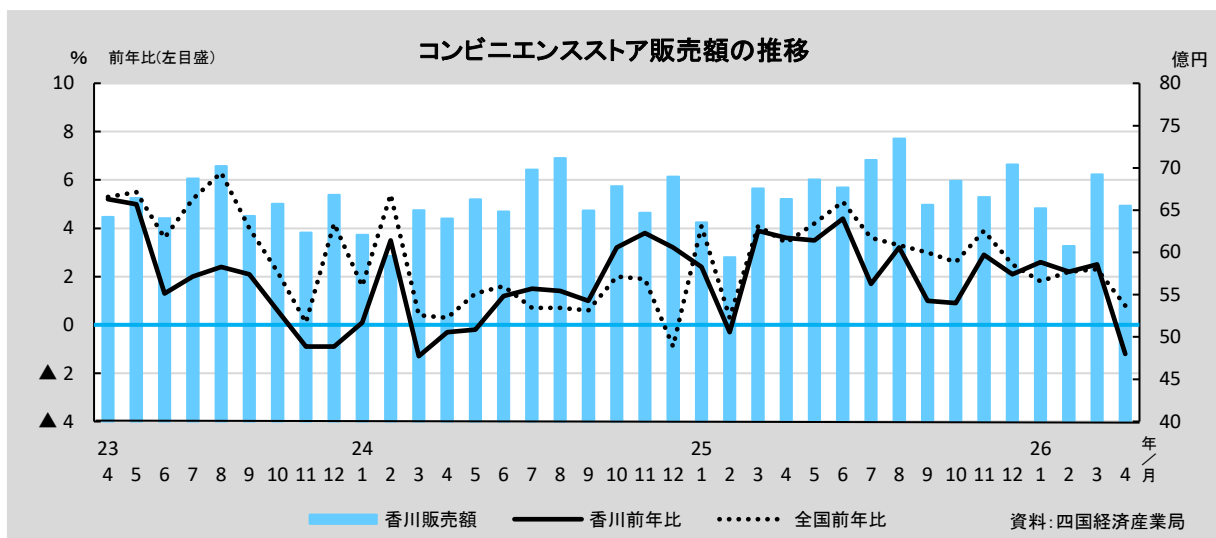


2026/4月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(百万円)	893	538	11,071	19	52	694	1,597	5	14,869
前年同月比(%)	▲ 7.5	▲ 7.6	▲ 2.0	18.3	39.8	▲ 2.5	8.7	3.9	▲ 1.5

4月の百貨店・スーパー全店(91店)の販売額は148.7億円で、前年同月比▲1.5%と2カ月ぶりに減少した。「飲食料品」は米の前年の価格高騰反動減により同▲2.0%、「衣料品」は紳士服・婦人服ともに伸び悩み同▲7.5%と減少した。「その他の商品」は、宝飾品などの高額品が好調だったことから同+8.7%と前年を上回った。

●コンビニエンスストア販売額

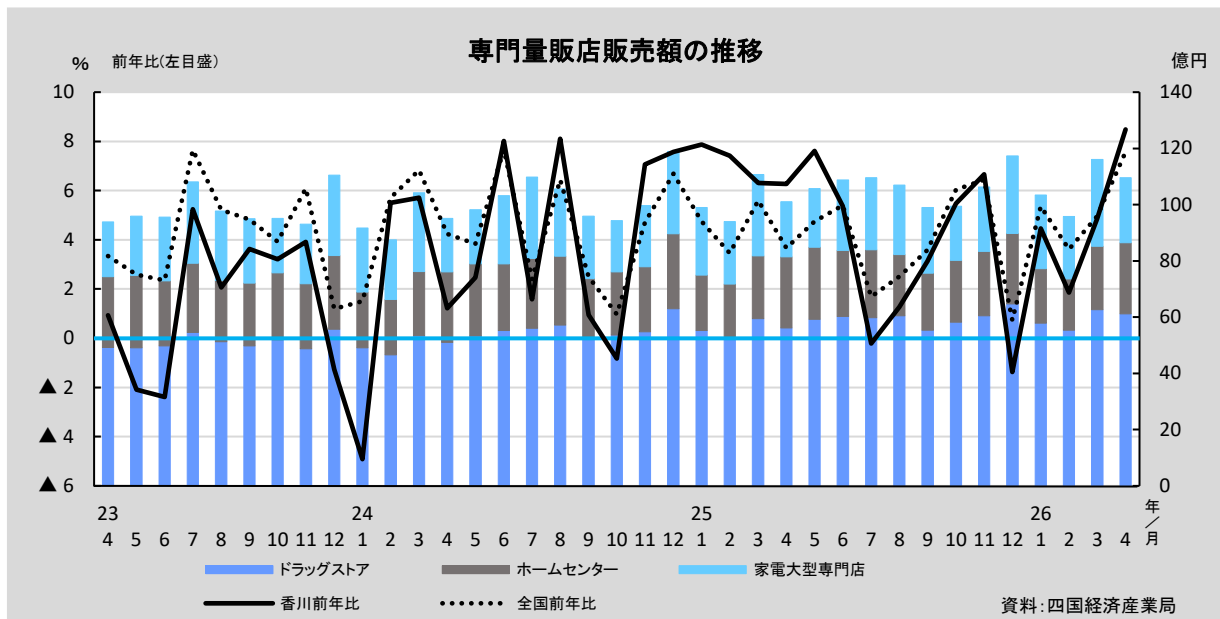
14 カ月ぶり減少



4月のコンビニエンスストア全店(407店)の販売額は65.5億円で、前年同月比▲1.2%となり、14カ月ぶりに減少した。

●専門量販店販売額

4 カ月連続増加

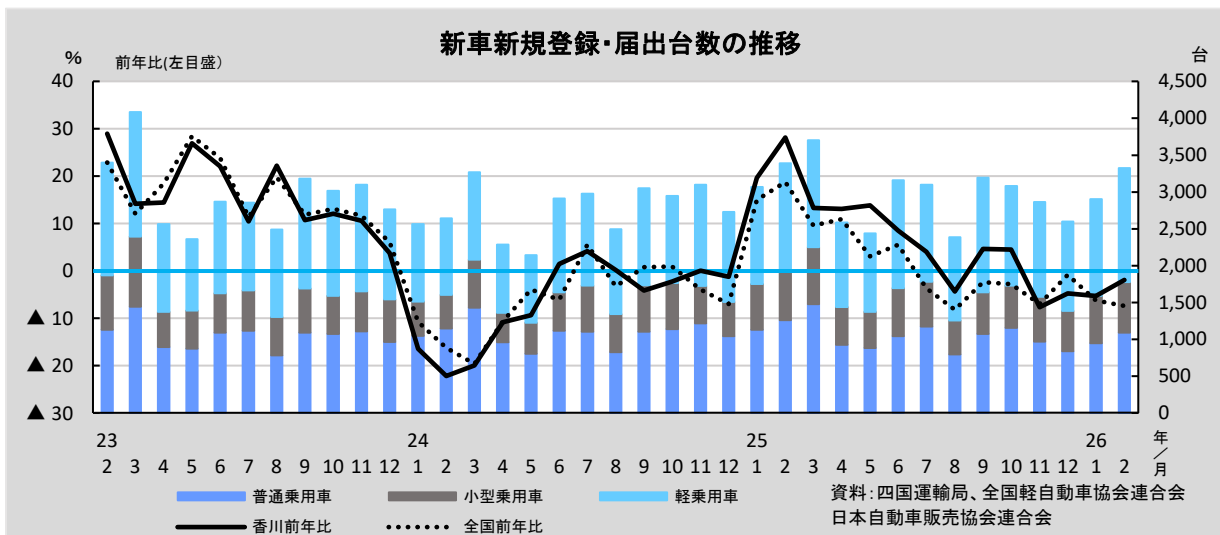


4月の専門量販店全店（241店）の販売額109.6億円で、前年同月比+8.5%と4カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は23.2億円で前年同月比+18.2%となった。**ドラッグストア**（168店）の販売額は、61.2億円で同+8.8%となった。**ホームセンター**（46店）の販売額は、25.3億円で同+0.2%となった。

●新車新規登録・届出台数

4 カ月連続減少



2月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,324台で、前年同月比▲1.9%と4カ月連続で減少した。

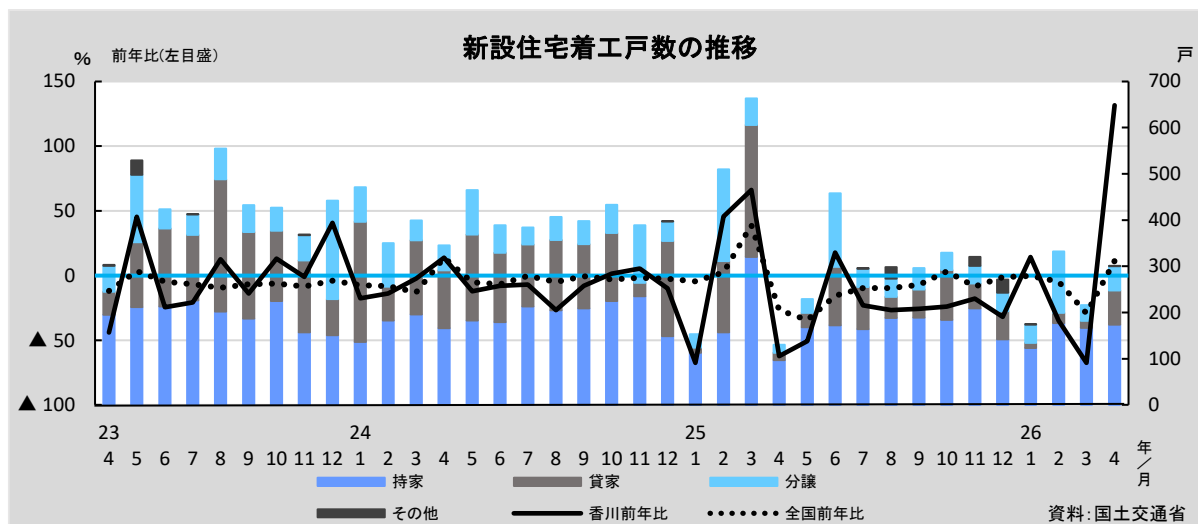
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲13.6%、小型乗用車は同+2.4%、軽乗用車は同+6.3%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

3 カ月ぶり増加



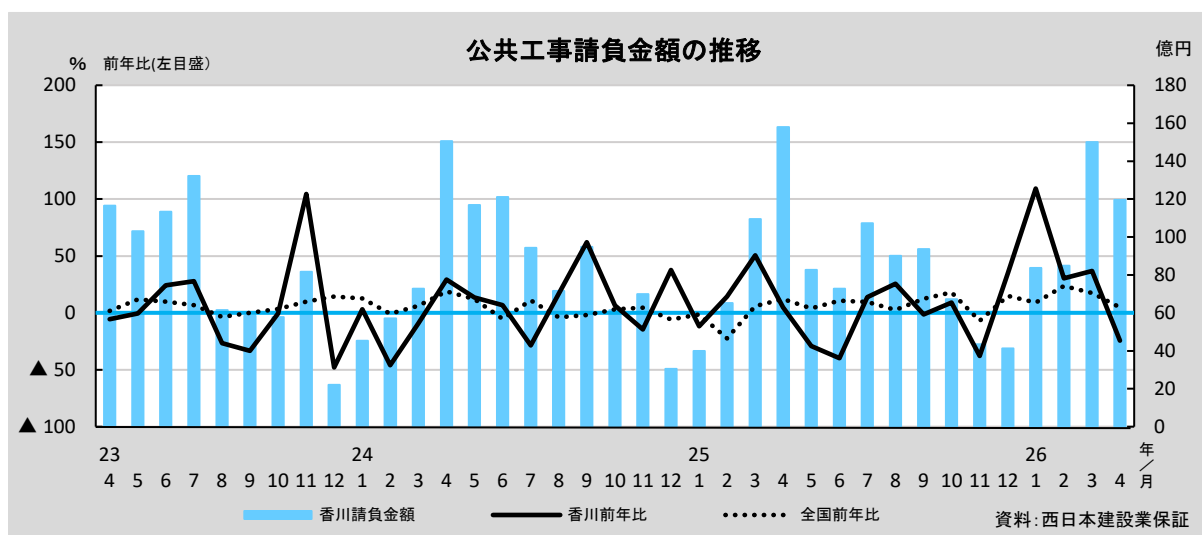
4 月の新設住宅着工戸数は 301 戸で、前年同月比+131.5%と 3 カ月ぶりに増加した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+79.4%、**貸家**で同+362.5%、**分譲住宅**で同+205.9%となった。

公共投資

持ち直しの動きがみられる

●公共工事請負金額

5 カ月ぶり減少



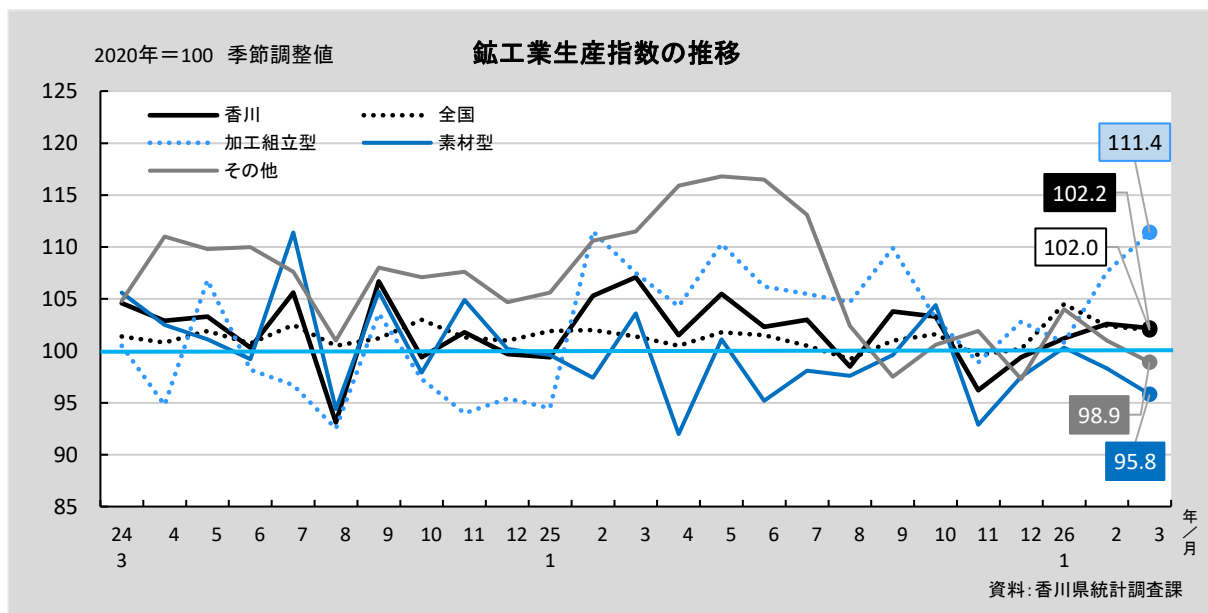
4 月の公共工事請負金額は 119.6 億円で、前年同月比▲24.2%と 5 カ月ぶりに減少した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲46.3%、**県**で同+523.9%、**市町**で同▲53.8%となった。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

4 カ月ぶり低下 ↓



3 月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は 102.2（前月 102.6）となり、4 カ月ぶりに低下した。

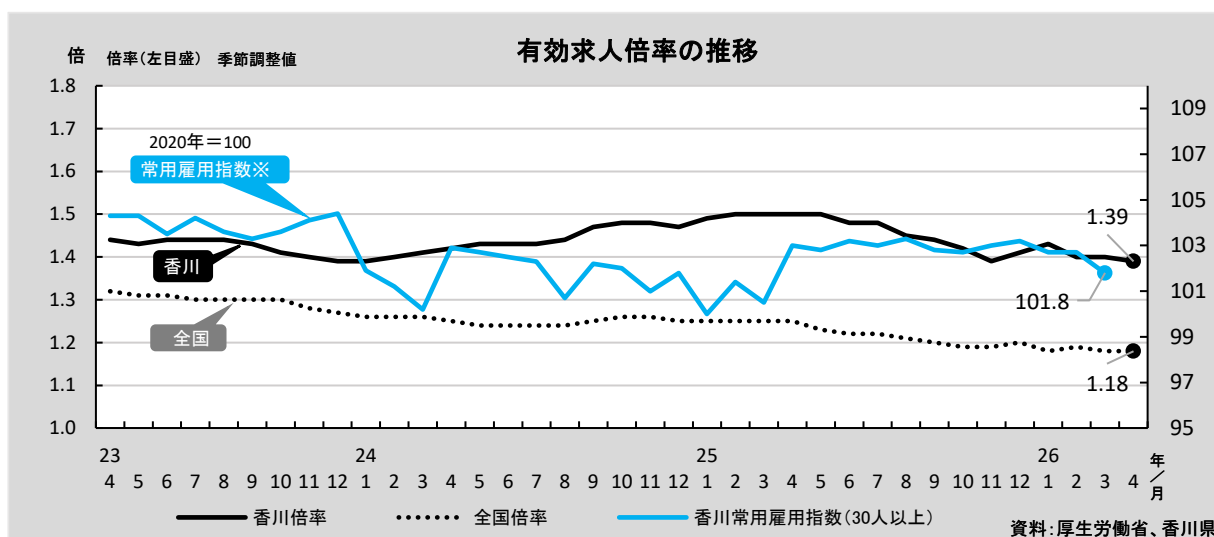
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比▲8.9%、加工組立型の電気機械工業（開閉制御装置など）は同▲7.2%と低下した。一方、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は同+6.3%と上昇した。

雇用情勢

持ち直しの動きに弱さがみられる

● 有効求人倍率

2 カ月ぶり減少 ↓



4 月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.39 倍（全国 7 位）と前月から 0.01 ポイント下回った。

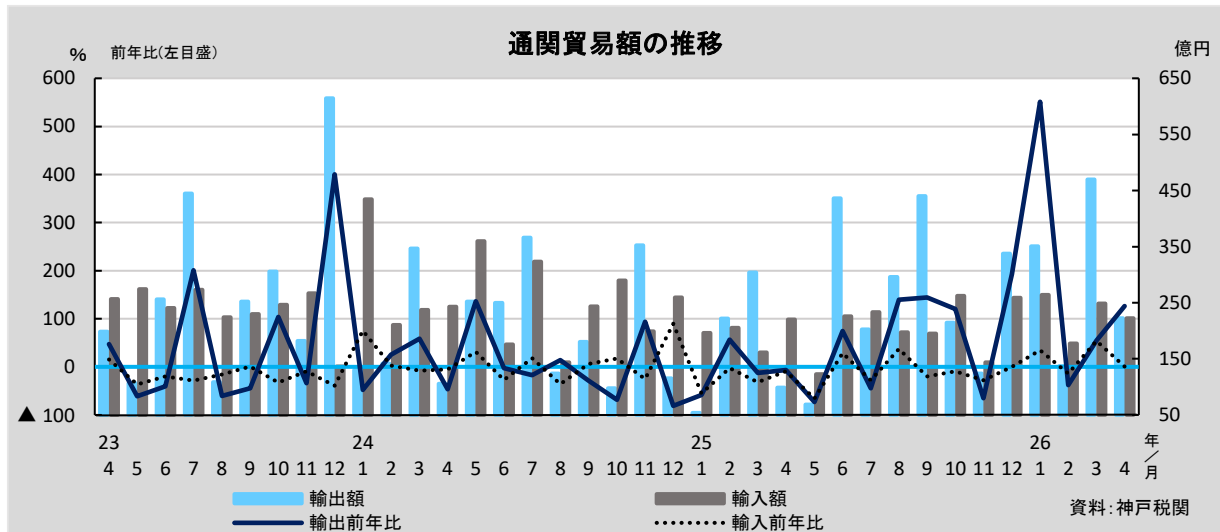
新規求人（原数値：前年同月比）は、サービス業（他に分類されないもの）、運輸業・郵便業、卸売業・小売業等で増加となり、全体で+4.3%と 3 カ月ぶりに増加した。

3 月の常用雇用指数（事業所規模 30 人以上）は、101.8 となり、前年同月比+1.3%と 14 カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.00
事務的職業	0.56
販売の職業	2.21
サービスの職業	2.92
生産工程の職業	2.33
輸送・機械運転の職業	2.23
建設・採掘の職業	6.18
運搬・清掃・包装等の職業	1.09

貿易

輸出、輸入ともに増加している

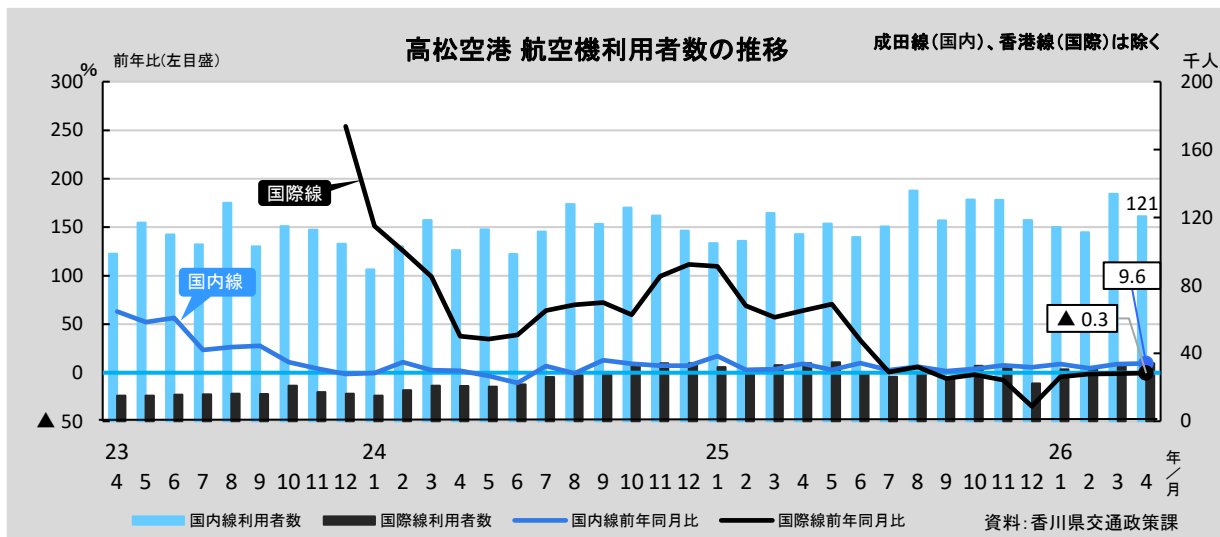


4月の輸出額は前年同月比+126.2%の222.7億円、輸入額は同+1.0%の222.3億円となり、差し引き0.4億円の出超となった。輸出は前年ゼロだったタンカー輸出額が156億円となり増加に寄与した。輸入は原動機輸入額が前年同月比30.7倍の42億円となり増加に寄与した。

交通

国内線は20カ月連続増加、国際線は8カ月連続減少

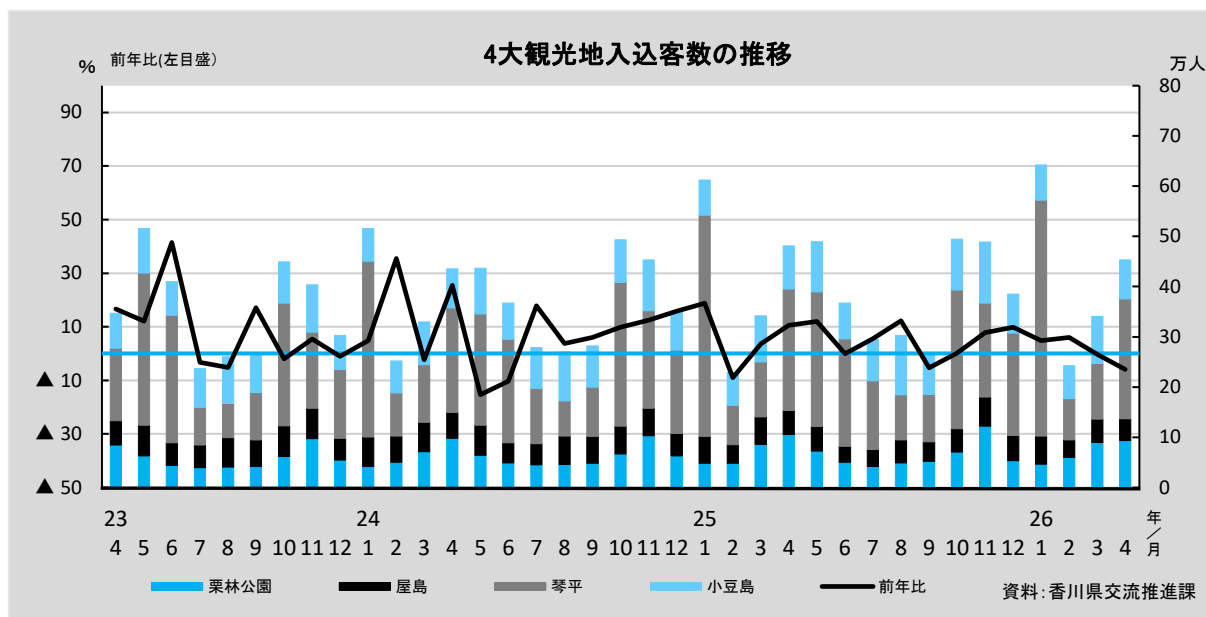
●高松空港旅客輸送実績



4月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が120,706人(前年同月比+9.6%)となり、20カ月連続で増加した。羽田線は106,868人(同+9.0%)、那覇線は13,838人(同+14.4%)となった。

国際線は、ソウル線20,515人(同+0.7%)、台北線9,592人(同+17.2%)、3月から新規就航した釜山線4,046人を加えたものの、合計34,153人(同▲0.3%)と8カ月連続で減少した。

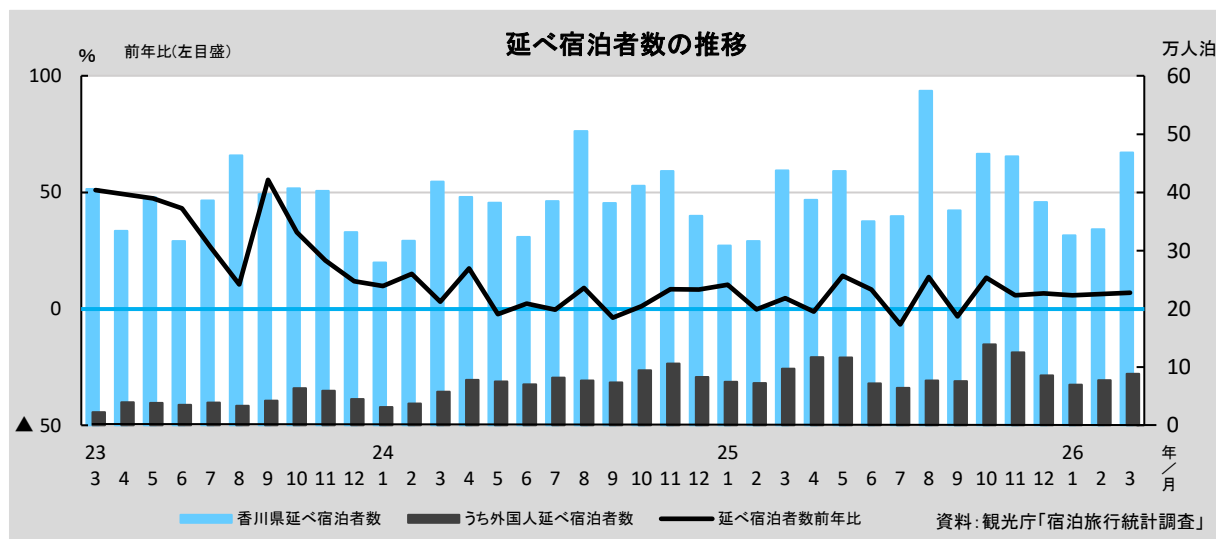
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
4月(人)	前年同月比	93,735 ▲11.0%	43,020 ▲9.9%	239,000 ▲1.2%	77,163 ▲10.5%	452,918 ▲5.9%
1~4月累計(人)		289,526 0.7%	180,584 ▲6.6%	902,000 3.7%	305,778 ▲2.5%	1,677,888 0.8%

4月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲5.9%と2カ月連続で減少した。栗林公園は前年同月比▲11.0%、屋島は同▲9.9%、琴平は同▲1.2%、小豆島は同▲10.5%と全て減少した。1~4月の累計では前年同期比+0.8%と増加を維持している。

●延べ宿泊者数



3月の延べ宿泊者数468,550人泊で、前年同月比+7.0%と6カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は88,510人泊となり、前年同月比▲9.4%と2カ月ぶりに減少した。